

リハビリ効率化で日当点1万円アップ、データ分析活用し経営改善

日本病院会が8月27日に開催した「中小出来高病院のための経営改善手法研修会」で、伊勢田中病院（三重県伊勢市、83床）の医事課課長で病院経営管理士の高尾泰則氏が講演。JHAstisの経営分析レポートを活用することで、日当点を1万円アップした事例などを紹介しました。



高尾泰則氏

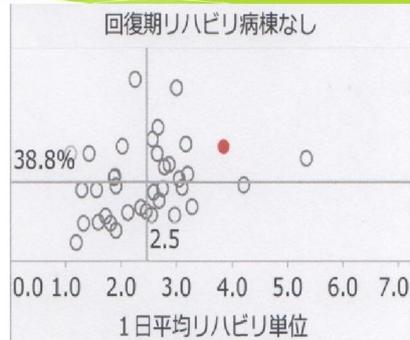
同院は急性期を終えた患者に対し、入院での「高度慢性期医療」を提供しています。人工呼吸療法や人工透析などに関する最新の医療機器を導入し、知識経験豊富なスタッフが日夜診療にあたっています。また、在宅医療、救急医療にも取り組んでおり、他の医療機関や老人ホームなどの老人入所施設と連携し、地域全体の医療の質向上を目指しています。

JHAstisは2016年から参加。DPC病院と比較し、出来高病院は経営分析にデータを活用しづらい状況だったため、JHAstisの「経営分析レポート」を重要な参考資料として活用しながら、経営改善に取り組んでいきました。

大きな成果にむすびついたのはリハビリテーションです。データ分析を通じて、同院が得意とする呼吸器リハビリテーションの効率化に向けた取り組みを推進。セラピストの採用なども重なって、リハビリの回転数が上がり、実施率、平均単位数ともに増加していきました。5年前には平均単位数2単位程度だった1日平均のリハビリ単位数は、2018年には3.8単位とほぼ倍増しました。

当院のリハビリの状況

実施率56.3% 平均単位数3.8単位



リハビリの効率化に伴い、入院の日当点も大きく向上。外来は1万5000円、入院は3万5000円と、それぞれ5年前と比べて2割程度単価が向上しています。

外来・入院日当点

	外来	入院
2014年	13,886円	27,862円
2015年	16,325円	29,300円
2016年	15,342円	27,487円
2017年	13,997円	29,226円
2018年	14,179円	32,995円
2019年	15,242円	34,997円